

医療情報システム学

科目到達目標: 医療情報や医療情報システムの概要について理解できる。ネットワーク、セキュリティ、データベース関連の基本的事項を理解できる。
個人情報取り扱いの留意点を理解できる。

科目責任者(所属): 網崎 孝志(生体制御学)

連絡先: E-mail: amisaki@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1				情報セキュリティ	網崎 孝志	生体制御学	情報セキュリティの概念と技術が理解できる。	クライアント/サーバ、ポート、ファイアウォール、公開鍵暗号、電子署名、電子認証、機密・完全・可用性
2	4/15(水)	1		医療における個人情報保護	近藤 博史	医療情報部	医療における個人情報保護と情報漏洩対策が理解できる。	個人情報、患者の権利、OECDの8原則、情報漏洩対策
3	4/22(水)	1		医療情報システムの発展プロセス	近藤 博史	医療情報部	医療情報システム開発の現状と発展性、課題が理解できる。	医療情報システム、オーダリングシステム、電子カルテ
4	5/13(水)	1		電子カルテと地域医療ネットワーク	近藤 博史	医療情報部	医療情報システム運用の実際が理解できる。	電子カルテ、地域医療連携、標準化
5	5/20(水)	1		データベース	網崎 孝志	生体制御学	関係データベースの基本概念が理解できる。	関係、スキーム、キー、正規化、関係代数、SQL、トランザクション、XML
6	5/27(水)	1		看護情報システム構築のプロセス	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	看護情報システム運用について理解できる。	看護、情報処理、システム化
7	6/3(水)	1		臨床検査と情報システム	野上 智	(非常勤講師)	検査部での被検者や検体の流れ、情報の管理・保護・伝達について理解できる。	検査部門システム、オーダ情報、バーコード、搬送ライン、ワークシート、本人確認、精度管理
8	6/10(水)	1		情報の表現・管理と解釈	網崎 孝志	生体制御学	情報表現と管理システムを再確認し、情報の解釈に関する手法の概略が理解できる。	二進、符号化、標準化、EBM、ターミノロジー、オントロジー

※4月～5月は121講義室(看護学専攻3年次)と322講義室(検査技術科学専攻3年次)をテレビ会議システムで中継して実施。

教育ブランドデザインとの関連: 2、6、7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

学位授与の方針との関連: 1、3、4

授業のレベル: 2

評価: 定期試験 95%、演習 5%

実務経験との関連: 医療情報部門、臨床検査部門、看護部門での実務経験を踏まえて、専門分野に関する講義をする

指定教科書: なし(プリントを配布する。)

参考書: 1. 医療情報 第5版、情報処理技術編、医療情報システム編及び医学・医療編、篠原出版、2016年